

施策評価調書

施策名	2-2-2	介護予防事業の推進	施策を取り巻く環境変化	平成23年度に第5期介護保険事業計画を策定する。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ P. 33		
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当	社会福祉 担当	
		リーダー	赤羽 一夫	

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	第31位/全36項目(高齢者福祉の充実) -9.0%	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	第2位/全36項目(高齢者福祉の充実) 77.2%	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:介護認定率(推計値からの抑制): (%)	21年度実績 13.77%	計 画	14.02%	14.30%	14.58%	14.86%	15.14%
		実 績	%	%	%	%	
指標2:介護予防運動教室参加者数: (人)	1,083人	計 画	1,131人	1,179人	1,227人	1,275人	1,323人
		実 績					
指標3:		計 画					
		実 績					
指標4:		計 画					
		実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項	○介護認定率は、増加傾向にある認定率の伸び幅を抑制することを目標とします。 ○介護予防運動教室参加者は、毎年約40人の増加を見込んでいます。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	265,815			
	決 算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

自己評価(部)	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
	第5期介護保険事業計画の策定年度であることから、第4期介護保険事業計画における各種サービスの実績を検証し、ニーズを把握するなどして次期計画に反映する。 介護一次予防の元気はつらつ運動教室を開催し、元気なうちから介護にならないよう個々に啓発していく。また、要支援、要介護になるおそれのある高齢者に対しては、介護二次予防としてはっぴー倶楽部を開催し、早期に介護にならないよう支援する。 高齢者に対する介護相談や権利擁護、虐待、認知症など高齢者を取り巻く環境は多様化していることから地域包括支援センターの役割は重要である。	介護保険事業計画の策定年度であることから、第5期介護保険事業計画を策定する。 二次予防対象者は平成23年度から選定方法の改正に伴い、対象者の増加が予想されるので、はっぴー倶楽部の回数を増やす。
総合評価(町長)	総合評価	
	前期計画での達成状況や、第4期介護保険事業計画の検証を踏まえ、介護予防を段階ごとに特化して積極的に支援していくことを評価する。 たたし、これから高齢者が益々増加することを踏まえ、支援を必要とする方へ、切れ目のない、適切なサービスを提供していくためにも、社会福祉協議会、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、町の4者が役割を分担し、連携した取組みになるよう努められた。 また、後期計画を展開していく上で、何に特化して選択と集中を図っていくのかは、第5期介護保健事業計画策定した後も、その状況を適切に把握、検証するとともに、社会福祉協議会のあり方を精査した上で、事業をお願いするなど機能的な施策展開を行っていくこと。	